



自主創造



宮の原中ホームページへはこちらから

2024（令和6年度） 学校経営の理念 豊かな心をもって、自律・実践する生徒の育成
～ 希望・創造・感動の校風をめざして ～

新年度がスタートしました！令和6年度もよろしくお願いします

やわらかな春の日差しのもと、令和6年度が始まりました。生徒たちは明るく元気に学校生活をスタートしました。

4月8日（月）に始業式が行われ、「あいさつ・笑顔・感謝の心」を大切にしてほしいということ、そして「1日1日を大切に」過ごしてほしいという2つのことをお話しました。そのあと、新2年生・新3年生の担任の発表があり、生徒たちは本当に真剣な表情で聞いていました。

4月9日（火）に、保護者の入場は2名、来賓は阿部PTA会長様に限定させていただき、入学式を行いました。新入生224名は緊張した表情でしたが、立派な態度で式に臨むことができました。

入学式の校長式辞では、2つのことをお話ししました。1つ目は、「学校は学ぶところ」であるということ。授業はもとより、登校してから下校するまで、学校での全ての活動が学びの場である。学力、健康・体力、そして豊かな人間性や社会性などを身に付けてほしい。2つ目は、「自立する」ということ。自分の考えをしっかりと持ち、自分の力で生きていけるようになってほしい。わがままな感情や甘えたい気持ちを我慢し、正しい行動ができるようになってほしいと伝えました。

私たち教職員は、新入生224名、進級した新2年生232名、新3年生257名、計713名の生徒たちの健やかな成長を願い、全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者や地域の皆様方のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本校の教育目標 『未来を拓く日本人を育てる』



【具体的指標】 ・創造性に富む人・心豊かな人・最善を尽くす人

【校訓】 自主創造

学校経営の理念



☆テーマ 『豊かな心をもって、自律・実践する生徒の育成 — 希望・創造・感動の校風をめざして—』

今、日本の社会を生きていく生徒たちには、困難や試練に負けずに生き抜いていく強さとたくましさ、そして、しなやかさをもつこと、人への思いやりや感謝する心、感動する心などを育てていくことが重要です。つまり「生きる力」を育成することです。

そこで、中学生という多感な時代に「希望・創造・感動」の世界を広げていくことが本校では必要であると考えています。希望は未来を創造し変えていく力、創造は生きる意欲と知恵、感動にはやる気を起こさせ、社会で生きて働く力や自己肯定感、生きる優しさを育む力があります。そのような校風をつくることによって、自律（自分で立てた規則に従って、自分のことは自分でやっていく力）・実践（粘り強く取り組み、それまでなかったものを作り出す力）する力が生徒一人一人に身に付くものと考えています。

その育成のために、全職員が労を惜しまず、生徒と正面から向き合って生徒の一人一人の「よさ」を認め、「ほめて伸ばす」（子どもの）「成長をともに喜ぶ」教育活動を実践していきます。